

読者サロン



ボーイスカウトとは

●茂木 寛

ボーイスカウトとは、自分のからだのどこに住んでいるのだろうか。ボーイスカウトに入りたての見習いときは、ユニフォームに、それを感じられるかも知れない。僕も入りたてのころはそうであった。ユニフォームを着ると、急に立派になり、気持ちが引き締まった感じがする。

そして、初級、2級をとり、1級になると、また違った感じがする。菊スカウトになると、もっと違ってくると思う。とにかく、ボーイスカウトというものがわかり、感覚が変わってくる。

例えば、手にくるもの。手旗、ロープ、炊事、工作。このようなものは、手で覚える。そして、手で行う。足にくるもの。スカウトペース、歩測、ハイキング。

背中にくるもの。リュックの積み方。

そして、心にくるもの。奉仕、和、それに、
「ちかい」と「おきて」。

まだ、いろいろある。そのことが感じられるということは、見習いで先輩について見よう見まねでやっていた時よりずっと進歩したことがわかる。

ボーイスカウトというのは、向こうからやってこない。こっちから、取りに行かなくてはならない。ボーイスカウトを自分の中に住ませるためにはそれなりの行いがよくなければならない。他の人々に迷惑をかけたり、かげぐちや悪口を言っただけではボーイスカウトはこない。

ボーイスカウトは、この手でつかむには努力が必要である。

努力にもいろいろある。電車の中で老人に席を譲ったり、班集会にかかさず出たり、みんなを笑わすのが好きな者は、みんなを笑わせ、心をなごませたりする。その人、その人によって努力の仕方は違うが、目的は同じボーイスカウトである。

ボーイスカウトは、みんなのすぐそばにいたのだ。だから、みんな努力して、ボーイスカウト、それも真のボーイスカウトになろう。

(綾瀬第1団BS隊)